

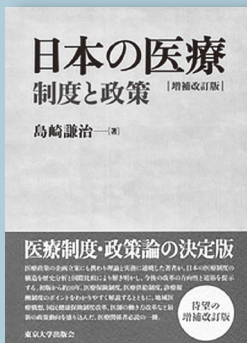
今月の 新刊紹介



〈シリーズケアをひらく〉 「脳コワさん」支援ガイド

著：鈴木大介
グラフィックレコーディング：清水淳子
発行：医学書院
定価：本体 2000 円＋税
A5 判 226 ページ

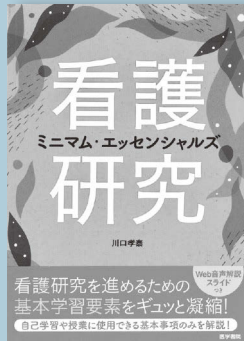
高次脳機能障害と、うつや認知症、発達障害などの人には、「脳の情報処理スペックの低下」という共通の困りごとがある。回復に向かうまでの詳細な振り返りから、当事者が「楽」になって前に進むために援助者ができることを示唆する実践的ガイド。



日本の医療 増補改訂版 制度と政策

著：島崎謙治
発行：東京大学出版会
定価：本体 4800 円＋税
A5 判 558 ページ

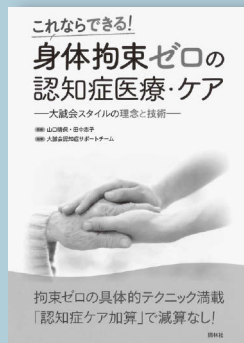
医療費の増加に加え就業人口の減少が進むため、日本の国民皆保険は危機的状況にある。歴史分析と国際比較により日本の医療制度の構造を明らかにし、今後の改革の方向性と具体的な政策を提示。初版から約 10 年、最新の政策動向を含め大幅に加筆した待望の増補改訂版。



看護研究ミニマム・ エッセンシャルズ

著：川口孝泰
発行：医学書院
定価：本体 2800 円＋税
B5 判 168 ページ

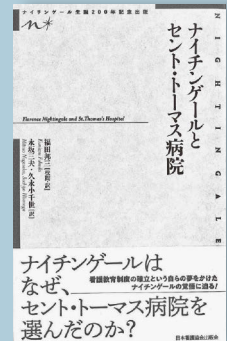
看護研究を進めるために知っておきたい基本的な学習要素（ミニマム・エッセンス）を凝縮した本書は、初学者が総論を学ぶ手引書であり、すでに研究に取り組んでいる人には研究をさらに深めるための道しるべとなる。指導の参考書として、臨床の指導者にも最適。



身体拘束ゼロの 認知症医療・ケア

監修：山口晴保，田中志子
発行：照林社
定価：本体 1600 円＋税
B5 判 84 ページ

人の尊厳を守るためにも、身体拘束をしない医療・看護は大原則だが、カテーテル自己抜去や転倒など生命に直結するリスク回避のためには不可避という考えもある。本書では、「点滴抜去」「チューブ・膀胱留置カテーテル抜去」「帰宅願望」「徘徊」などの場面別に、身体拘束しないテクニックを満載した。



ナイチンゲールと セント・トーマス病院

校閲・訳：福田邦三
訳：永坂三夫，久永小千世
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 2700 円＋税
新書判 312 ページ

1860 年、ナイチンゲールはセント・トーマス病院に看護婦養成学校をつくった。本書は、その歴史と歩みをひもときながら、ナイチンゲールの覚悟と、厳格な規律の中で看護を学び、世界に知らしめたナースたちの使命感あふれる姿を追う。



看護管理に
効く
1 冊

謙虚なリーダーシップ 1 人のリーダーに依存しない 組織をつくる

著：エドガー・H・シャイン，
ピーター・A・シャイン
訳：野津智子
発行：英治出版
定価：本体 1800 円＋税
四六判 240 ページ

弱さを受け容れ、本音を伝え合う関係が、組織を変える。人と組織の研究に多大な影響を与えてきた研究者がたどり着いた、資質ではなく「関係の深さ」に着目したリーダーシップ。その実践のあり方を提示する。